



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

平成 30 (2018) 年 11 月 28 日 第 8 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

感動のウエーブに包まれた学習発表会

校長 中川勝美

今年度の学習発表会は、スローガン「絆～心ひとつに感動のウエーブを！～」の達成を目標に練習に励んできました。本校の特色として、ブラジルに永住している子供たちと共学しているという利点を生かし、ポルトガル語も取り入れた内容に取り組んでいることが挙げられます。今年度は、合唱や群読にポルトガル語を取り入れて発表しました。かなり難しいポルトガル語でしたが、子供たちは主体的に練習に取り組みました。当日、子供たちが伝えたい自分たちの思いを精一杯伝えてくれたと感じました。まさに、感動のウエーブが広がったように思いました。

行事で子供は育つと言われます。学んだ力を総合的に駆使して全力で表現する場があるからだと思えます。とりわけ、人に見てもらふ経験が大きく成長を促します。人に見られるという意識が、緊張感や成功したときの満足感につながり、児童・生徒が持っている力を伸ばし育てていくことにつながっているのだと思えます。また行事は、子供たちに達成感や充実感を味わわせ自尊感情を高めるとともに、「集団の質を高める」ことにもつながります。

行事は、集団の質を高める三つの大きな力をもっています。1つ目は、「仲間意識を育てる力」です。例えば合奏や合唱では、友達と音を合わせ、みんなと揃える気持ちがなくてはきれいな音は作れません。2つ目は、「集団や仲間迷惑をかけないように気を配る心を培う力」です。共通の目標をもって、一緒に何かを創り上げようとするれば、小さな衝突が生まれることがあります。行事への取組を通して子供たちは、自分の気持ちを少し抑えて我慢することや、友達のことを気にかけてながら行動しなければ、上手くいかないということを学んでいきます。3つ目は、「一人一人が自分の役割を自覚し、責任を持って成し遂げる力」です。劇や南中ソーラン、そして音楽を創り上げる中で、一人一人が自分の役割を果たすために諦めずに努力する大切さを自覚していきます。

行事は集団の質を高めます。そして、質の高い集団は一人一人を鍛えます。また、集団に対して自分が価値ある存在であることを認識したときに、集団はさらに向上し発展していくものです。これからも本校では、行事を通して集団を鍛え、個人を成長させるように努めていきます。



ご来賓・保護者の皆様には、心温まる激励の拍手をいただきまして、本当にありがとうございました。さらには今年度も愛幼稚園様、ジョゼフィーナ校、エフィジェニオサーレス日本語学校、西部アマゾン日伯協会日本語学校の皆様にご参加いただき、学習発表会を大いに盛り上げることができましたことに心より感謝申し上げます。

水泳記録会学年統一新記録訂正のお知らせ

学校便り 10月号でお知らせした学年統一記録に
○50m背泳ぎ H.Kさん(記録 46秒3)がもれて
いましたので訂正し、お知らせいたします。

結果、新ルールでの新記録が41、タイ記録が1、
学年統一新記録が9となりました。

12月行事予定